

奈井江町立国民健康保険病院経営強化プラン

パブリックコメント実施結果

日頃より奈井江町立国保病院の運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
令和6年2月20日から2月29日までの期間にて、奈井江町立国民健康保険病院経営強化プランの策定に係るパブリックコメントを実施させていただきました。いただいた意見につきまして、ご意見の要旨や奈井江町として考え方について下記のとおり報告いたします。

1. 意見募集期間

令和6年2月20日から2月29日

2. 意見の表明方法

奈井江町のHP上に掲載したインターネット回答フォーム

3. パブリックコメント募集結果

表明者数 2人

意見総数 1件

※個人を誹謗中傷する内容の意見を除く。

4. ご意見及び町としての考え方の詳細

別紙のとおり

※1件のご意見を経営強化プランの該当箇所に区分けして記載。

5. 所管部署

奈井江町立国民健康保険病院 総務係

奈井江町立国民健康保険病院 経営強化プラン（案）に対するパブリックコメントの結果について

No.	項目	ご意見等の要旨	ご意見に対する考え方（回答）	プランへの反映について
1	プラン全体	<p>イ）機能面は現状維持と強化、ロ）医療スタッフ確保と働き方改革推進、ハ）経営効率化を通じた資金不足解消、三方良しのプランで、複数の政策目標を同時に追求することは可能なのか。</p> <p>持続可能な医療サービスと町民・利用者負担の均衡点を求めることが課題ではないのか。</p>	<p>奈井江町立国保病院の経営につきましては、医業収益が減少しているなか、効率的な運営や費用の削減に努めておりますが、物価や労務単価等の高騰により委託費用などの増加、老朽化による設備の更新等、非常に厳しい状況となっております。また、人員についても医療スタッフが慢性的に不足しており、スタッフの定着化を図ることが難しく、離職による人員減少により雇用環境が悪化し、更なる離職者が出るという負のスパイラルを早急に止めなければならない状況となっております。</p>	
2	5. 医師・看護師等の確保と働き方改革	<p>職場環境や雇用条件等に課題を認識しているのは結構だが、対象期間の人員計画が明らかではないから、議論ができない。働き方改革で目指すゴールの姿が示されていない。</p>	<p>公立病院は、医師・看護師等の不足、人口減少や少子高齢化に伴う医療需要の変化等により、厳しい経営環境が続いておりますが、地域における基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保のため、重要な役割を果たしており、また、新型コロナウイルス感染症などの新興感染症への対応で、公立病院の果たす役割の重要性が改めて認識されました。</p>	
3	8. 施設・設備の最適化	<p>「計画的に、当院に必要なスペックで」と記載しているが、センター病院との連携、リハビリ機能の有無と規模、外来診療のみか入院病床を維持するか、あり方のケース分類に応じた「必要」を示さずに「必要なスペック」と言われても判断が難しい。</p>	<p>地域住民に求められる身近な医療機関としての役割を確保し、人口減少の進む当町においても安定的に病院を運営していくためには、不採算であっても政策的に医療を確保していく必要があることから、一般会計の負担も必要と考えております。</p>	<p>町立国保病院の考え方は、左記のとおりとなりますので、ご意見として受け止めさせていただきますので、プランの変更等はありません。</p>
4	9. 経営の効率化等	<p>収入の確保では減収見通しで、経費節減をおこなっても医業収益比率が2ポイント強の改善にとどまり、資金不足の解消に期待することができない。</p>	<p>奈井江町立国保病院は、中空知二次医療圏の人口動態や疾病構造の変化、それぞれの病院経営の状況などを見極めたうえで、複数の病院が連携して取り組むべき課題と思われることから、近隣病院等との連携を密にし、特に圏域のセンター病院である砂川市立病院と医療連携協定を締結しており、砂川市立病院が急性期、当院が慢性期を担うことで、それぞれの役割を果たすことで、地域の医療提供体制を確保し、医療を継続的に提供していきたいと考えております。</p>	
5	10. 経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画	<p>もっともらしい数値を並べているが、それぞれの根拠が明らかではないから、評価のしようがない。</p> <p>医業を縮小して医業外事業に経営を集中することが賢明ではないか。</p> <p>二次医療圏で供給過剰な慢性期病床を全廃してサ高住にかえるなど、検証可能な条件を設定したモデルでの収支試算を示さない限り、何を問われているのか伝わりにくい。</p>	<p>奈井江町立国保病院は、中空知二次医療圏の人口動態や疾病構造の変化、それぞれの病院経営の状況などを見極めたうえで、複数の病院が連携して取り組むべき課題と思われることから、近隣病院等との連携を密にし、特に圏域のセンター病院である砂川市立病院と医療連携協定を締結しており、砂川市立病院が急性期、当院が慢性期を担うことで、それぞれの役割を果たすことで、地域の医療提供体制を確保し、医療を継続的に提供していきたいと考えております。</p>	